

潮音寺だより

第 264 号
平成 17 年 10 月
電話 052-671-4831
ファックス 052-671-4856
E-Mail:choonji@aichi.email.ne.jp

<ホームページ> <http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/>

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬 1 -10-11



【出典】
法然上人
『禅勝房伝説の御詞』

悪をあらためて
善人となりて
念仏せん人は
仏のみ心に叶うべし

写真：「月下美人」 正田勝彦

もし
過去の咎が
あなたの心を
痛めていたとしたら

念仏を

称えなさい

み仏に

懺悔なさい

み仏の心に

叶う人であれば

世間の人も

きつと

許してくださる

阿修羅

秋は行楽のシーズン、お寺巡りをされる方も多いかと思えます。そして、どなたにも、これまでに訪れた中で、心に残る仏閣や仏像



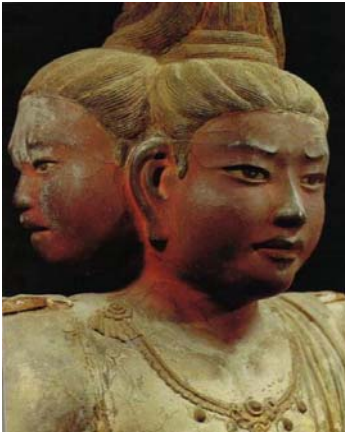
が一つや二つはあるのではないでしょうが。

そんな中、特に人気の高い仏像に、奈良興福寺の八部衆中の、阿修羅像があります。細く長い六本の腕を空間に差し伸べて立ち、その巧妙な手の配置、愁いを含む美しい少年のような表情は、見る人

の心に、何かを訴え、語りかけてくるようであります。

八部衆とは、元来古代インドの邪神であったが、釈尊に教化され、仏法を守護するようになった八種の天部のことをいいます。

①天(天界の神々)、②竜(蛇形の鬼神)、③夜叉(悪人を食う鬼神)、④乾闥婆(帝釈天に仕えて音



楽を奏する楽神)、⑤阿修羅(闘争を好む悪神)、⑥迦楼羅(金翅鳥：金色の翼をもつ大鳥)、⑦緊那羅

(天の楽神)、⑧摩睺羅伽(蛇神)からなります。

阿修羅が、興福寺の像からは「闘争を好む悪神」であったということをご想像しにくいですが、血なまぐさい戦闘の行われる場所や場面を「修羅場」といったり、六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上)の一つとして、絶えず闘争を好み、地下または海底に住み、人間以下の存在とされているのは、それなりに理由があります。宗教思想研究家ひろさちや氏が、次のように紹介されています。

インドの神話に、アスラとインドラの神が登場する。アスラは「正義」の神であり、インドラは「力」の神であった。最初、一神は仲良しく天界に君臨していた。

ところで、アスラの娘は絶世の

美女であった。父親のアスラはこの娘を誇りに思い、青年インドラに嫁がせたいと思っていた。「正義」の神の娘と「カ」の神が結婚すれば、きつと理想の夫婦になると信じていたのだ。

だが、青年インドラは、そんなアスラの心中を知らず、街でアスラの娘を見たとき、これはいい女だと、暴力でもって彼女を犯してしまった。「カ」の神は傍若無人、直情径行なところがある。そしてインドラは、アスラの娘を自分の宮殿に擄ってきた。

怒ったのは、父親のアスラである。青年インドラに好意を持っていただけに、アスラの憎しみは大きい。「絶対に許せぬ」と、アスラはインドラに戦鬪を挑んだ。

けれども、アスラは「正義」の

神であり、インドラは「カ」の神だ。アスラがインドラに勝てるわけがない。アスラは敗北する。しかし、アスラはインドラを許せず、負けても負けても、アスラは執拗にインドラに闘い続ける。

そのうちに、インドラは面倒になった。そこで、ついにアスラを神々の世界から放逐した。追放されたアスラは、「魔類」とされた。

仏教は、このインドの神話にもとづき、勝ったインドラを「帝釈天」とし、護法の善神とした。そして、負けたアスラを「阿修羅」あるいは「修羅」と呼び、闘争を好む魔神にしたのである。

これはひどい！ これでは、まるで「勝てば官軍」ではないか！ 最初、わたしはそう思った。けれども、いろいろと仏教説話を読ん

でみると、帝釈天と修羅の娘は仲がいい夫婦になっているのである。だが、父親の修羅は、過去の怒りを根に持って、帝釈天を許せないでいるのだ。なるほど、修羅は「正義」である。しかし、「正義」にこだわり続けると、人間は修羅になってしまう。仏教はそのことを言っているのだ、と、わたしは気づいた。

「正義」にこだわると、いつまでも「正義」の怒りを燃やすな！ それが仏教の教えである。……

以上、アスラの苦悩を思いやると胸が痛くなりますが、これに近い人は、身近にも結構います。自分のが絶対正しいはずなのに、どつもつまらない場合、阿修羅像と語り合ってみると、案外糸口が見つかるかもしれません。

戒律 かいりつ

普通には「戒律」と一言でいいますが、本来、「戒」と「律」とは意味が異なっているものなのです。「戒」とはサンスクリット語ではシーラといい「習慣的な行為」を意味しますが、「律」というのは、サンスクリット語でヴィナヤといい「悪い行いを滅すること」で、実際には出家者が守るべき生活規範や禁止事項をさしています。

したがって、「戒」は、自分の意志で良い生活習慣をつけようとするものですから罰則はありませんが、「律」のほうには、それを犯すと極端な場合は教団追放といった処置が事細かに決められています。

す。

住職通信

理屈は表で通り
暴力は裏で通る
世は信じ合いで通り
法は何処でも通る



スリランカやタイなどの南方仏教僧は今でも比丘(男僧)は一五〇項目、比丘尼(女僧)は三四八項目にもぼる厳しい戒律を守っています。現在の日本仏教では出家と在家の区別がほとんどありませんから「戒」が主流に説かれています。その代表的なものが次の「五戒」です。

- ① 不殺生戒 (生命を大切にす)
 - ② 不偷盜戒 (盗みをしない)
 - ③ 不邪淫戒 (浮気をしない)
 - ④ 不妄語戒 (嘘をつかない)
 - ⑤ 不飲酒戒 (酒を飲まない)
- たった五つの戒でも、どうも

耳の痛いことばかりですね。

雑記



▼位牌堂

工事は、十月一日からの予定です。なお、工事中でも、普段通り、お寺参りはできるようお願いしてあります。とはいつても、何かとご不便を多々おかけすると思いますので、「ご容赦下さいませ」ようお願いいたします。

▼表紙

檀家の足田勝彦様から、夏の真夜中、純白大輪で芳しく香り、たった一夜はかなくも咲く、その名も美しき「月下美人」の写真を提供いただきました。

▼名月や淡く燻りて

白檀香 沐魚